

# 日本地球電気磁気学会会報(第64号)

1974年12月10日

日本地球電気磁気学会  
連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16(〒113)  
東京大学理学部地球物理学教室内  
電話 03-812-2111(内線6476)  
振替 東京 4860番

## 目 次

1. 学会役員選挙について
2. 第56回総会報告
  - 資料Ⅰ 学会事務の一部を学会事務センターに依頼する提案
  - 資料Ⅱ 学会会費の値上げについての提案
  - 資料Ⅲ 運営委員の増員に関する規約改正案
3. 役員選挙に関する内規改正
4. 学会事務センターへの一部事務委託について
5. 新入会員
6. 会員の各賞受賞について
7. 物故会員
8. 総会・講演会の次回開催地
9. お知らせ
  - (1) 東京大学宇宙航空研究所助教授公募
  - (2) 「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」講演募集
  - (3) IUGG総会
  - (4) 日本学術会議第66回総会報告

1. 下記により学会役員の選挙を行ないます。

同封の用紙封筒を用いて御投票下さい。

投票〆切日 1月10日

今回より委員長，評議員，運営委員の選挙を同時に行ないますので御注意下さい。

なお現運営委員中次の四名は，内規第1条この規定により留任を辞退して  
います。

小 島 稔

斎 藤 尚 生

行 武 毅

西 田 篤 弘

2. 第56回総会

第56回の日本地球電気磁気学会総会は昭和49年11月14日午後岐阜県穂積町中央公民館において開催されました。議長には委員長指名により松浦延夫会員が当りました。

(1) 太田征次郎大会委員長挨拶

(2) 運営委員会報告

i) 新入会員(別記)

ii) 科研費審査員として，大家，等松，木村会員を超高層部門に，行武，  
笹嶋会員を固体地球部門に推薦しました。

iii) 諸物価値上りのため本年度収支は赤字となるものと思われま

iv) 学会誌JGGに超高層大気研究論文の投稿を要望します。

(3) 田中館賞授与

第65号 村田宏雄会員

「超高層における大気潮汐波の研究」

(4) 長谷川記念杯贈呈

福島直会員に、地球電気磁気学の発展に対する寄与に感謝の意を表し、長谷川記念杯を贈呈しました。

(5) 委員長挨拶

(6) 議 事

- i) 学会事務の一部を学会事務センターに依頼する提案、及び学会会費の値上げについての提案(別項資料Ⅰ、Ⅱ)について討議し、これを可決しました。
- ii) 運営委員の増員に関する規約改正案(別項資料Ⅲ)を可決しました。  
なおこれに関連する内規改正は、総会での討論を考慮の上運営委員会が行ないました(別項3)。

(7) 次期開催地

大林委員長より、郵政省電波研究所及び理化学研究所から開催の御申出があることが紹介されました。

なお、定足数133名に対し、出席者60名、委任状95名で総会が成立しました。

資料Ⅰ 学会事務の一部を学会事務センターに委託する提案

(1) 依頼する事務内容

- i) 会員連絡業務(会費の収納、印刷物の配布、連絡事務)
- ii) 会計業務(会計出納、決算事務)

(2) 移管時期

- i) 1974年12月1日～1975年3月31日

此の期間は会費収納を除いた会員連絡業務のみを依頼する。

ii) 1975年4月1日以降

1年間の契約更新で毎年、会員連絡・会計両業務を依頼する。

iii) 学会と学会センターとの間で、業務委任契約書を取り交し、業務の内容及びそれに必要な費用については覚書で別に決める。

## 資料Ⅱ 学会会費の値上げについての提案

過去4年間会費を据え置いて来ましたが、昨秋以降の異常な諸物価、印刷費、人件費の値上り等による支出増のために会費の値上げを提案せざるを得ない現状となりました。運営委員会としては

正会員会費	2,500円(現行)を	4,000円
学生会員会費	1,500円	を 2,500円

に天々増額することを提案致します。

(参考資料) 収支概算

(A) 現行会費の場合の収入

会費	96万	( $\frac{2,500\text{円} \times 360}{1,500\text{円} \times 40}$ )
予稿集売上	60万	
預金利子	10万	
計	166万	

(A)-(B) = -53円

(B) 支出概算

総会年2回	40万
編集分担金	30万
会員連絡費	22万
会計事務費	10万

会誌郵税（年6回）	15万
会報等郵税（年6回）	10万
予稿集印刷費（年2回）	60万
会報印刷費	12万
諸経費	20万
	計 219万

(C) 値上げ後の収入

会費	154万 ( $\frac{4,000\text{円} \times 360}{2,500\text{円} \times 40}$ )
予稿集売上	60万
預金利子	10万
	計 224万

資料Ⅲ 運営委員の増員に関する規約改正案

規約第8条を次の様に改正します。

(現) 本会に次の役員をおく。

委員長1名 評議員10名 運営委員10名

ただし、同一人が2つ以上の役員を兼ねることはできない。

(改) 本会に次の役員をおく。

委員長1名。 評議員10名 運営委員14名

ただし、同一人が2つ以上の役員を兼ねることはできない。

3. 役員選挙に関する内規改正

運営委員会では、「運営委員の増員に関する規約改正案」が総会で可決されたことに伴い、第56回総会での論議を参考に学会内規を次の様に改正しました。

なお、次回の選挙で分野別、地域別の趣旨が生かされない場合には、改めて内規を検討します。

## 第1条二

(現) 評議員の選出は9名連記無記名投票とする。

運営委員は下記の様式に従い、10名連記無記名投票を行い合計得票数の順位によって上位10名を選出する。

主として地球外部物理学を研究するもの	2名
主として地球内部物理学を研究するもの	2名
委員長所属機関に属するもの	1名
学会事務所々在機関に属するもの	1名
その他(特に専門, 所属を指定せぬもの)	4名

ただし同一人を評議員と運営委員に重複して記載してもさしつかえない。

なおこの選挙に先立ち運営委員会の議を経て、現運営委員の中若干名は当選した場合留任を辞退することができる。これらの氏名は予め全会員に通知する。

(改) 評議員の選出は9名連記無記名投票とする。

ただし同一人を委員長と評議員に重複して記載してもさしつかえない。

運営委員は下記の様式に従い、14名連記無記名投票を行い合計得票数の順位によって上位14名を選出する。

ただし同一人を評議員と運営委員に重複して記載してもさしつかえない。

なおこの選挙に先立つ運営委員会の議を経て、現運営委員の中若干

名は当選した場合留年を辞退することができる。これらの氏名は予め全会員に通知する。

分野別	主として地球外部物理学を研究するもの	3名
	主として地球内部物理学を研究するもの	3名
地域別	東北・北海道に在住するもの	1名
	関東に在住するもの	4名
	中部に在住するもの	1名
	関西以西に在住するもの	2名

#### 4. 学会事務センターへの一部事務委託について

春季総会以降、運営委員会はこの件に関して財団法人日本学会事務センターとの間で話し合いを進めて参りました。その結果、以下の線でこの問題を具体化して行くことになりました。会員の皆様の御協力をお願い致します。

##### (1) 委託する事務内容

i) 会員連絡事務：会費の請求，収納，学会誌，会報等印刷物の配布

ii) 会計業務：会計・出納・決算事務

- 会費請求書は年3回（6月末，12月初旬，3月末），事務センターより各会員宛発行されます。会費の送金は事務センターの銀行口座（三井銀行）宛に振込んで頂くこととなります。第一勧銀を通して送金可能ですが，この場合には手数料100円が会員負担となります。
- 入会・退会・住所変更等はこれ迄通り学会事務所を通して学会センターに連絡致します。

○学生会員の有効期間は1年毎の更新となります。

その際、学会事務所より該当会員宛に必要な書式をお送りしますので、それに指導教官の署名をして頂いて送り返していただきます。

(2) 移管時期

i) 1974年12月1日～1975年3月31日

この期間は会費請求・収納を除いた会員連絡業務のみを依頼する。

ii) 1975年4月1日以降

1年間の契約更新で毎年会員連絡・会計両業務を委託する。

iii) 学会と事務センターとが業務委任契約書を取り交し、業務の内容及びそれに必要な費用の支払いについては覚書で別に決める。

5. 新入会員

前回の会報発行後次の方々が入会されました。

氏名	所属	専攻
浜野洋三	東大理	地球物理
村岡良知	兵庫医大	超高層大気物理
趙泰吉	京大理	超高層物理 ㊦
前田佐和子	京大理	超高層大気物理㊦
小島浩司	名古屋保健衛生大	宇宙線

この結果、国内在住会員数は現在410名となっています。

6. 会員の各種受賞について

御承知のように、永田武会員に文化勲章が授与されました。この栄誉を会員一同お祝い申し上げます。



また、当学会の推薦により、加藤進会員に第9回山路自然科学奨学賞が授与され、等松隆夫会員に第11回松永賞が授与されました。

更に、慶松光雄、福島直両会員には、毎日学術奨励金が与えられています。

7. 本学会会員 久保木忠夫氏は昭和49年10月8日に逝去されました。また元会員安井豊氏も逝去されました。謹んで哀悼の意を表したいと思います。

8. 総会、講演会の次回開催地、

第57回総会並びに講演会は電波研究所の担当で開催されることになりました。

9. お知らせ

(1) 東京大学宇宙航空研究所では、外圏物理学部門（伊藤富造教授）の助教授1名を公募中です。研究分野は「飛翔体などを使って地球外圏域の物理現象およびそれに基づく地球環境に関する研究（主として実験）」で、締切は昭和50年2月1日です。詳細については、下記にお問合せ下さい。

東京都目黒区駒場4-6-1（〒153）

東京大学宇宙航空研究所 人事掛

(2) 第11回宇宙技術および科学の国際シンポジウムは、昭和50年6月30日から7月5日まで日本都市センターで開催の予定です。講演の御申込は東大宇宙研（上記）林友直教授あてに願います。

(3) 第16回IUGG総会

1975年8月25日～9月6日フランスのグルノーブル市で第16回IUGG総会が開かれその機会にIAGA総会も開催されます。フランスから会議の具体案を示した第2回サーキュラーが近々送られてくる筈ですが、本日までのところまだ届いておりません。

皆様方の中には、御都合をつけてこの会議にご出席になられたい方も多いと思います。この会議への出席者に団体割引運賃による旅行のお世話をしたいと申し出ている旅行社もあります。出席希望者にはできるだけグルノーブル会議諸情報入手の便宜をはかりますから、関心をおもちの方はご遠慮なく福島直(東大理・電話(03)812-2111, 内線7511) まで御連絡下さい。

1975年8月30日にGrenobleでIUGG総会の一部として次のシンポジウムが開催されます。

Symposium on High Atmosphere and Space Problems  
of Atmospheric Electricity.

詳細については、小川俊雄会員(京大理)にお問合せ下さい。

(4) 日本学術会議第66回総会(昭和49年10月22日・24日)の報告が学会事務所に来ています。閲覧御希望の方は御連絡下さい。

# 日本地球電気磁気学会会員名簿

1974.11.20現在

(総数410名)

## 北海道・東北地区

北海道大学  
藤原嘉樹  
横山山泉  
津田孝夫  
西田泰典

札幌气象台  
横内恒雄

地磁気観測所  
森山俊雄  
山口又新

弘前大  
奥田光直  
鍋谷祐夫

岩手大  
高橋八郎  
千葉敏躬  
矢作直弘

緯度観測所  
岡本功一  
角田忠一

一関工専  
内海健

秋田大  
乗富一雄

秋田工専  
奥山良俊

電波研秋田  
石嶺剛

東北大  
上野宏共  
岡野章一  
荻野正朗  
上野山尚  
斉藤井生  
桜井安享  
庄野安彦  
高武忠利  
玉生志郎  
中新川久夫  
丸妻山明  
森岡家昭  
大

宮城教育大  
森洋介

山形大  
渋谷仙吉

福島大  
菅野常吉  
真鍋健一

仙台市天文台  
小坂由須人

国土地理院  
水沢水野雄  
水野浩

東北工大  
佐藤佳朗

## 関東地区

新潟大  
木山喜隆  
斉藤文一  
西村浩一  
矢野利保  
高橋

電波研平磯  
犬木久夫  
大塩光夫  
若井登

電波研鹿島  
塩見正信  
高橋富士

高層气象台  
高柳明夫

地磁気観測所  
荒木健  
大地泷  
大和田真一  
河村喜久男  
米栖島正幸  
桑今野幸三  
佐野木正規  
白井原正男  
永柳藤一夫  
加藤諠司

木更津工専  
田村和士  
中村士強

気象大学校  
伊勢崎修弘  
木下垣大  
檜安井正

宇都宮大  
本沢忠夫

群馬大  
野村哲美  
岡田敏美

東大教養  
中村純二

東大物性研  
秋本俊一

東京天文台  
田鍋浩義

東大海洋研  
北沢一安  
小野林和男  
野村村史  
木村勝弘  
古田俊夫

東大震研

上田 誠也  
大 中 康 一  
笹 井 洋 恒  
坪 川 家 昭 三  
南 雲 蔵 義 守  
本 武 武 登 志  
行 野 野 常 次 (在外)  
吉 力

東大宇宙研

伊藤 富 造  
江尻全機 (在外)  
大山 林 辰 蔵  
小河 山 孝 一  
高 島 信 樹  
鶴 柳 和 夫  
西 田 浩 一  
平 尾 篤 邦 弘  
前 沢 村 正 雄  
松 留 井 重 三  
三 向 佐 川 利 夫  
高 橋 文 穗 一  
G. R. Jaram 京 敏 正  
藤 寺 中 渡 清 水 幹 夫

東大理

飯川 健 紘  
小小 利 高  
小 嶋 一 稜 稔  
兼 岡 田 祐 郎  
金 野 分 長  
河 藤 藤 征  
国 近 藤 藤 豐  
近 斉 佐 上 雄  
野 上 杉 竹 人  
田 玉 等 富 林 萩 福 卷 宮 長 鈴 佐 野 渡 山 浜 木 川 野 詰 畑 田 田 沢 利 秀 洋 三

自

宅 荒 越 佐 橋 古 吉 中 米 木 川 野 詰 畑 田 田 沢 利 秀 洋 三 番 明 雄 一 郎 秋 子 明 之 勝 武 男 威

極地研究所

川 田 沢 永 平 威

早大 遠藤源助

東京教育大 渡辺村正 隆年

東京理科大 今関長吉 道川沢松 周俊進隆三 一男午三

青学大 石井千尋

日大 菊地弘

都立大 小林信夫

東京水産大 小 林 博 夫

明大 清水吉雄

立教大 牧野忠男

東洋大 上野直子

日本エネルギー経済研 十市 勉

国際電々 金谷澄憲 夫一治

宮古田

気象研 北村正 重 須田友 三崎方 山崎下喜 弘

工学院大

加藤昭七郎

理研 奥谷 晶子  
小竹 玉内 正弘  
土手 敏友 一彦  
宮崎 友喜 昭雄  
村上 吹田 一英 雄美  
矢和 田

電波研 相秋有石 京田賀川本 和田藤谷 城滝野尾口村崎倉島野条田浦 丸橋克英 (在外)

和錦三 弘忠忠 賢一寿義 幸 弘 成 裕 高

弘郎健郎 巖之彦 典 功 美 爾 彦 夫 勝 良 雄 円 義 志 雄 夫 延 (在外) 紀 茂 隆 誠 昭 五 郎 史 浩

上小恩糟 栗上新田 滝中西羽福 奋北前松 丸橋克英 (在外)

新田滝 中西羽福 奋北前松 丸橋克英 (在外)

滝中西羽福 奋北前松 丸橋克英 (在外)

奋北前松 丸橋克英 (在外)

丸橋克英 (在外)

皆宮森山 渡竹之下 田中

皆宮森山 渡竹之下 田中

皆宮森山 渡竹之下 田中

宇宙開発事業団  
 石川 守 雄  
 長谷川 貞 善  
 山田 弘 彰  
 田中 彰 彰

気象庁  
 内川 規 一  
 長坂 昂 一  
 伴野 登 登

海上保安庁  
 大島 章 一

電通大  
 奥 隆 志  
 柴田 野 夫  
 芳野 越 夫  
 宮武 貞 夫

東海大  
 加藤 愛 雄  
 高橋 隆 男  
 遠山 文 雄  
 堀内 剛 二  
 青山 博 夫  
 井口 塚 夫  
 飯塚 光 進  
 石田 光 男

国土地理院  
 瀬戸 孝 夫  
 田島 稔 稔  
 田中 尚 美  
 藤田 尚 美

石油資源開発株  
 青木 豊

地質調査所  
 石原 丈 実  
 陶山 淳 治

電々公社横須賀  
 磯 彰 夫

相模工大  
 岩崎 昇

埼玉大  
 北川 信一郎

千葉大工業短大  
 島倉 信

国分寺市立第一中学  
 鶴田 光子

防衛技研  
 徳田 八郎衛

電子技術総合研  
 中谷 茂

二松学舎大  
 晶山 久 尚

日本地図センター  
 原田 美 道

船橋市立高根台中  
 藤田 賢 一

国立放射線医学研  
 藤高 和 信  
 阿部 史 朗

三洋水路測量KK  
 松崎 卓 一

防衛大  
 三沢 清 敏

前橋地方气象台  
 湯村 哲 男

環境庁  
 吉田 徳 久

測機舎株  
 関根 康 弘  
 原田 宏 一  
 稲田 清 夫

三菱石油開発KK  
 鈴木 正 明

職業訓練大学校  
 村瀬 勉

甲府气象台  
 横内 幸 雄

在外  
 上出 洋 介  
 福西 浩

中部地区

信州大  
 一之瀬 匡 興  
 百瀬 寛 一  
 森 江 新 一  
 安 坂 修 二  
 鷲 坂 修 二

長野高校  
 村田 宣 雄

名大空電研  
 石川 晴 治  
 岩井 章 晃  
 岩田 津 助  
 大柿 沼 隆 清  
 柏木 瑞 夫  
 鎌田 哲 夫  
 倉橋 克 典  
 佐尾 和 夫  
 高木 増 美  
 竹内 利 雄  
 田中 春 夫  
 田中 義 人  
 棚橋 秀 伍  
 仲井 敏 敏  
 仲野 貢 徳  
 西野 正 士  
 早川 正 治  
 鴛 見 一  
 渡 辺 亮  
 山 下 子

名古屋保衛大  
 小島 浩 司

八幡中学校  
 尾田 孝 夫

名大理  
 上野 裕 幸  
 熊沢 峰 夫  
 近藤 一 郎  
 神原 志 津子  
 関戸 弥 太郎  
 長島 一 男  
 早川 幸 男  
 藤井 善 次郎  
 藤本 和 彦  
 村山 山 彦

名大プラ研  
 川村 孝 弋  
 山中 中 馨

名大水圏科学研  
 岩坂 泰 信

岐阜歯科大  
 市川 敏 朗  
 太田 征 次郎  
 永野 宏

岡崎高校  
 歌口 光 夫

中部工大  
 木村 正 明  
 金原 国 淳  
 鈴木 木 弘  
 馬場 清 英  
 袴田 和 幸  
 宗像 義 教

岐阜大  
 大地 登

岐阜県立吉城高  
 谷口 武

自宅  
 慶松 光 雄

福井高専  
 北一 麻 呂  
 義江 修 二

金沢地方气象台  
 近藤 五 郎

富山大  
 坂井 純 一

金沢大  
 中谷 進  
 満保 正 喜  
 長野 勇

福井大  
 岡公 夫

関西以西地区

京大理  
 荒木 徹  
 小川 俊 雄  
 奥田 治 之  
 川平 浩 二  
 菊地 木 崇  
 鈴木 中 亮  
 田中 田 和  
 半田 山 駿  
 福前 山 薫  
 笹田 嶋 担  
 西嶋 田 雄  
 越前 田 一  
 田佐 和 子

京都産業大  
 前田 憲 一  
 山本 実 孝  
 笹村 義 二  
 井上 雄 一  
 田村 雄 一

京大工  
 麻生 武 彦  
 小川 藤 徹  
 加藤 村 進  
 木村 磐 根  
 原尾 和 昭  
 筒井 弘 稔  
 橋本 昌 一  
 深尾 昌 俊  
 堀内 俊 洋  
 松本 本 紘  
 藪崎 藤 紘  
 内藤 悠 史

京都教育大  
 武貞 良 人  
 前川 紘 一郎  
 安原 通 博

京都工織大  
 松井 松 長

花園大  
 前中 一 晃

同志社大  
 一ノ瀬 琢 美

大阪工大  
 大塚 与左衛門

大阪大  
 岡野 純  
 久米 昭 一  
 島田 昌 彦  
 鳥居 雅 志  
 中安 島 正 己  
 川克 川 己

甲南大  
 藤田 晃

大阪府科学教育  
 センター  
 室井 勲

大阪市大  
 奥本 隆 昭  
 鈴木 木 裕  
 高島 正 樹  
 竹屋 芳 夫  
 堤浦 四 郎  
 三並 川 夫  
 並川 富 一

兵庫医大  
 佐藤 輝 夫  
 村田 宏 知  
 村岡 良 知

神戸大  
 松本 治 弥

鳥取大  
 宮腰 潤 一郎  
 渡谷 邦 彦  
 山岸 正 明

島根大  
浅海英三  
伊藤藤晴明  
時枝克安

海上保安大  
歌代慎吉

高知大  
楠瀬昌彦

山口大  
堂面春雄

愛媛大  
三島靖  
鶴飼正行

自 宅 所 優  
田 堤 捨 男  
野 田 田 弘  
初 田 甚一郎

九州大  
内野修  
北村泰一  
南部充宏  
広野求和  
藤原玄夫  
坂原翁介  
牧野行雄

地磁気観・鹿屋  
大島汎海

琉球大  
平良賢剛

大分大  
吉崎涉